

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市賀来北2丁目5-6
団体名 一般社団法人 e-blossom
代表者氏名 金谷 英津子
電話 080-4272-6057
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 交付決定年月日 令和 6 年 9 月 3 日
交付決定番号 協働第 1691 号
2. 事業名 ラポーズマルシェ〜ママと子どもの優しい時間〜
3. 補助金の交付決定通知額 104,240 円
4. 補助金の概算交付額 0 円
5. 補助金の精算額 104,240 円
6. 事業の成果
親子の絆を深める0歳から12歳まで多数の親子の参加があった。木のおもちゃ広場・木工のワークショップを実施。
親子で木育玩具や制作を通して、木と触れ合い、普段と違う創造的な遊びを体験できた。親子で触れ合う時間。そして、親も夢中になって遊ぶ時間を子ども共有できたのは、親子の絆を深め、木のおもちゃの温もりも感じ、さらに環境保全やいのちのつながりへの関心をもっていただけだ。
同じ世代の参加者同士の交流もあり、参加者の輪を広げ、子育て世代のコミュニティも広げるきっかけになった。
防災についてもカードゲーム・実際の防災時に炊くご飯も作り試食してみるなど、防災について考えるきっかけになった。
大分大学の学生ボランティアのおかげでさらに良い世代のコミュニケーションもはかれた良い事業になった。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類



(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)

団 体 名	一般社団法人 e-blossom			
事 業 名	ラポーズマルシェ〜ママと子どもの優しい時間〜			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☐ 市内全域 ☒ 大分中央 ☒ 大分東部 ☒ 大分西部 ☐ 大分南部 ☒ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☒ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実 施 時 期 実 施 場 所 実 施 内 容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	① 7/ 25	坂ノ市公民 館集会室	大人 23 子供 27	講演会&木育おもちゃ広場
	② 7/ 26	坂ノ市公民 館集会室	大人 20 子供 24	防災カフェ〜災害、防災について〜
	③ 10/ 14	坂ノ市公民 館集会室	大人 65 子供 113	ピタゴラススイッチワークショップ&木育おもちゃ 広場
	④ 2/2	坂ノ市公民 館集会室	大人 46 子供 64	マイ箸作り&木育おもちゃ広場
	⑤ 5/3 0、 6/2 7	賀来サロン	大人 2、3 子供 2、3	ラポーズマルシェ
使 用 し た 広 報 手 段 と そ の 効 果	☒ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook 等の SNS ☒ その他 (具体的に) 大分合同新聞に記事が掲載された			
	広報の効果 ・ SNSへの投稿がメインだった→DMでの問い合わせ・申し込みが多かった ・ ラポーズマルシェスペシャルのチラシを作製し会場近隣の小学校で児童に配ってもらえた ・ 参加者からの口コミ			
活動目標の報告	親子のコミュニケーションを深める事業、そして、子どもの自己肯定感を育み、親 がその成長に気付けるワークショップなども行うことで、目的は遂行できた。 賛助会員収入を獲得するため、チラシ、SNS、口コミで勧誘を行ったが、今年は獲 得できなかった。 事業収入は、メイクセラピー講座を福岡と大分で開催。 参加市民の増加目標に取り組んだ結果、教育委員会からの後援も得て、今後の活動チ ラシを小学校にも配布していただけることとなった。			
事業の成果	地域への効果について (対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入) 平日開催した夏休みでの木育おもちゃ広場では、熱中症に気をつけながら母親だけで 子どもを遊びに連れていく場所がなく、うるさいと虐待通報されたなど辛いお話をし ていただいた。このような場所は、子どもだけでない。親も癒される場所になるの で続けてほしいとの声が多数あった。			
	市民への効果について (市民福祉の向上にどうつながったのかを記入) 今回、災害が頻繁に起こる中、身近に感じてもらうと防災カフェを開催した。自分 で作る防災ボトル。キーリング (大分市キャンプ協会様)、被災した時のご飯の炊 き方・試食。防災への知識をカードゲームなどで行い、親子で考えてもらう機会を提 供したことで、防災への意識が高まったとお声を多数いただいた。			

来年度に 向けた課題	今回の木育おもちゃ広場では、人の肌の次に温かみを感じる木材でのおもちゃ、そして、創造性を育むおもちゃで親子で想像しながら豊かな時間を作ることができた。ただ、どこに相談していいかわからない子育ての悩みを感じている親子も多く、もっと話を聞く場所があると痛感した。当団体はつなぐ相談所・発達障害・グレーゾーンの子どもを持つ親のピアサポートをしながら子どもの自己肯定感を育むもの作りイベントを今後も続けていきたい。
---------------	---

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

実施内容別紙

① 7月25日(木) 10:00～12:30

10:00～10:30 福岡おもちゃ美術館 館長 石井今日子氏による「赤ちゃんから始める木のある暮らし」の講演

10:30～12:30 木のおもちゃで遊ぶ

② 7月26日(金) 10:00～12:30

福岡「tree branch」青柳幸恵さん、大分キャンプ協会副会長 中村仁美さんを講師に迎え、防災ボトル作り・防災カードゲーム・防災食の試食・キーリング作りを行う

③ 10月14日(月祝) ①10:00～12:00／②13:00～15:00

TVチャンピオン「コロコロからくり装置王選手権」初代チャンピオンのTOYクリエイター野出正和氏による、ピタゴラ装置作成ワークショップを開催。親子で作る時のコツ、注意点など沢山の話しをしていただきながら作成。

ワークショップの時間以外は木のおもちゃで遊ぶ。

木のおもちゃで遊ぶだけの親子も参加。

④ 2月2日(日) ①10:00～12:00／②13:00～15:00

県産材で作る親子で箸作りワークショップ、木のおもちゃで遊ぶことをメインに ADIYOSHI 工房さんのおもちゃ作り、絵本屋かのこさんによる読み聞かせも同時開催。

社介戦士サンタイガー参加

木のおもちゃで遊ぶだけの親子も参加。

※①③④木のおもちゃは、家では遊ぶことのできない大型のものもあり。

⑤ 5月30日(木) 11:00～

キットパスで手形足型アート、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、子育て相談

6月27日(木) 11:00～

七夕飾り作り、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、ママの簡単ストレッチ、子育て相談
(どちらも未就園児親子を対象とした小規模のワークショップ)

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

91

事業名： ラポーズマルシェ～ママと子どもの優しい時間～

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	104,240	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入	81,000	①500円×18組=9,000円 ②500円×18組=9,000円 ③500円×61組=30,500円 ④500円×60組=30,000円 ⑤500円×5組=2,500円
そ の 他	160,194	代表自己資金
合 計	345,434	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	140,000	①講師謝金 30,000 ②講師謝金 30,000 ③講師謝金 30,000/講師謝金 20,000 ④講師謝金 30,000
旅 費	75,000	①講師交通費 15,000 ②講師交通費 15,000 ③講師交通費 15,000/講師交通費 15,000 ④講師交通費 15,000 (対象外 75,000円)
消 耗 品 費	2032	③袋 330/ゴミ袋・会場掃除用雑巾・養生テープ・受付用品 1,105/シート固定用養生テープ 597 (対象外 110円)
食 糧 費	2,872	③熱中症対策用飲料 2,872
保 険 料	5,000	④イベント保険 5,000
使用料・賃借料	120,530	①②会場 9,620 ③会場 5,180 ④会場 6,730/おもちゃ賃借料 99,000
合 計	345,434	補助対象経費 270,324円

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。